

# BEST AVAILABLE COPY

## (54) TRANSFER TYPE BAR CODE

(19) 국가 (Country) : JP (Japan)

(11) 공개번호 (Publication Number) : 1991-076681 (1991:04:02)

(13) 문헌종류 (Kind of Document) : A (Unexamined Publication)

(21) 출원번호 (Application Number) : 1989-213836 (1989.08.20)

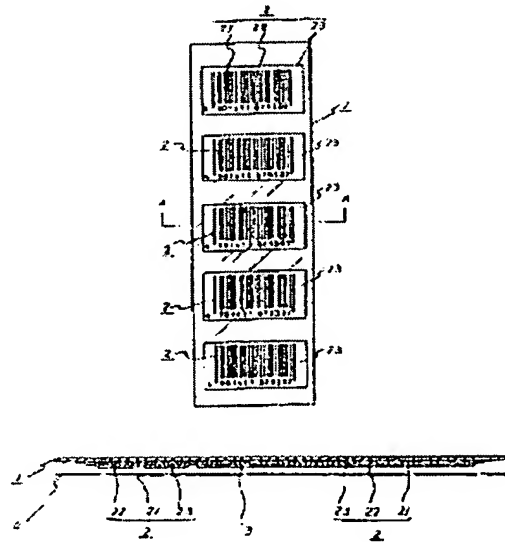
(75) 발명자 (Inventor) : FUKUI AKIHIKO

(73) 출원인 (Assignee) : SANKOO MARK KOGYO KK, OSAKA INSATSU INK SEIZO KK,

(57) 요약 (Abstract) : PURPOSE: To employ a bar code having a standard size even in a corrugated cardboard box by applying a predetermined bar code to the under surface of a transfer film and further applying a fixing film to the surfaces of both of the film and the bar code in a releasable manner and forming an adhesive layer to the surface of the fixing film.

CONSTITUTION: A transfer type bar code is obtained by displaying a predetermined bar code 2 consisting of thick bars 21 and fine bars 22 on the under surface of a transfer film having releasability, for example, a polyethylene film or a transfer film 1 provided with releasability by providing a release layer by a printing method and applying a fixing film 23 composed of a white ink of other colored ink layer or a colorless transparent synthetic resin layer to the surfaces of both of the film 1 and the bar code 2 so as to surround the outer region of the bar code 2 and forming an adhesive layer 3 to the surface of the film 1 so as to cover the fixing film 23. Release paper 4 such as silicone processed paper is applied to the surface of the adhesive layer 3 to protect the adhesive layer 3. By this method, this bar code can be used in a state transferred to the upper surface of the bar code inferior to printing and the bar code of a standard size can be employed even in a corrugated cardboard box.

대표도면 :



(51) 국제특허분류 (IPC) : B41M-003/12 ; B42D-015/00 ; B44C-001/165 ; G06K-019/00 ; G06K-019/06

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

## ⑫ 公開特許公報(A) 平3-76681

⑤ Int.Cl.<sup>5</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成3年(1991)4月2日

B 41 M 3/12  
 B 42 D 15/00  
 B 44 C 1/165  
 G 06 K 19/00  
 19/06

3 6 1

E

K

7029-2H

7008-2C

2119-3B

6711-5B

6711-5B

G 06 K 19/00

Q

A

審査請求 有 請求項の数 3 (全3頁)

⑭ 発明の名称 転写式バーコード

⑮ 特 願 平1-213836

⑯ 出 願 平1(1989)8月20日

⑰ 発 明 者 福 井 昭 彦 大阪府東大阪市若江本町2丁目4番10号 サンコーマーク  
 工業株式会社内

⑱ 出 願 人 サンコーマーク工業株 大阪府東大阪市若江本町2丁目4番10号  
 式会社

⑲ 出 願 人 大阪印刷インキ製造株 大阪府大阪市平野区加美西2丁目8番31号  
 式会社

## 明 細 書

1. 発明の名称 転写式バーコード

2. 特許請求の範囲

① 転写フィルムの下面に所定のバーコード、および、バーコードの外域を囲むフィルム及びバーコード表面に固定被膜を剝離可能に施すと共に、固定被膜の表面に粘着層を施して成るを特徴とする転写式バーコード。

② 転写フィルムが、インキが接着しない透明或いは半透明フィルム又は離型層を設けた透明、半透明フィルムからなる請求項1記載の転写式バーコード。

③ 固定被膜が、着色インキ層或いは無色透明の合成樹脂層である請求項1記載の転写式バーコード。

3. 発明の詳細な説明

&lt;産業上の利用分野&gt;

この発明は、物流情報システムにおけるバーコードシンボルに関する。

&lt;従来の技術&gt;

商品包装箱には、バーコードシンボル(以下バーコードという)が印刷或いはシール貼り付けにて表示されている。

上記のバーコードは、太バーと細バーの組合わせによって表現したい数字を表すもので、太細バーには読取りに際してバー太さに対するプラス、マイナスの許容値がある。

&lt;発明が解決しようとする問題点&gt;

バー太さが許容範囲外の場合、或いは、バーに断線又はぼみ、汚れ等の印刷不良がある場合、表現したい数字と異なる数字として読み取られる虞れがある。

印刷不良の場合、通常、同様なバーコードが印刷されたシールを貼付けて修正するか、或いは、高価な包装箱と雖も廃棄処分が余儀なくされる。

シール貼付けの場合、シールに厚み(約150ミクロン)があるため、他物に引っ掛かり、めくれるという不都合を生じる。

また、例えば、段ボール箱の場合、箱表面の筋目および印刷方法に問題があり、化粧箱と同様な標

特開平3-76681(2)

標準サイズのバーコードでは、許容範囲の太さのバーコードが得られず、従って、拡大したバーコードが印刷表示されている。この場合、段ボール箱の体裁を著しく悪くする等、幾多の問題がある。そこで、この発明は極めて簡単な構成により、上記の諸問題を一挙に解消し得る新規な転写式バーコードを提供することを目的とするものである。

#### < 問題点を解決するための手段 >

上記の目的を達成するための、この発明の手段を説明すると、この発明の転写式バーコードは転写フィルム1の下面に所定のバーコード、およびバーコードの外域を囲むフィルム及びバーコードの表面に固定被膜を剥離可能に施すと共に、固定被膜の表面に粘着層を形成したものである。

#### < 作用 >

上記構成の如くなるから、本願の転写式バーコードは、例えば、包装箱をバーコード部分に空白を設けて印刷しこの空白部分に転写にて表示し、或いは、包装箱に直接印刷したバーコードに印刷不良がある場合、印刷不良のバーコードの上面

紙4にて覆い、保護してある。

然して、この発明にかかる転写式バーコードを使用するにあたっては、包装箱はバーコード部分に空白を残して印刷し、前記、空白部分にフィルム1の固定被膜23部分を当てがい、該部分を押圧するとき、フィルム1上の固定被膜23及び太バー21、細バー22からなるバーコード2は粘着層3によって空白部分に接着し、転写表示される。

上記の転写した固定被膜23、バーコード21、22は、印刷方法により構成したから、厚みが15ミクロンと極薄なため、包装箱に直接印刷したものと同様に体裁が良く、且つ、他物に引っ掛かかりめくれるという不都合がない。

また、包装箱に印刷したバーコードに印刷不良がある場合、前記と同様、印刷不良箇所フィルム1の固定被膜の部分に当てがい、転写することにより簡単に修正でき、高価な包装箱を廃棄することがなくなる。

更に、本願の転写式バーコードは、段ボール紙の表面と雖も正確、簡単に転写できるから、これの

に転写し、使用する。

この発明は、特に固定被膜を含むバーコードの厚さが15ミクロンと極薄なため、包装箱に転写後、他物に引掛かることが無く、しかも、直接印刷と同様に美麗な外観を呈し、段ボール箱と雖も標準サイズのバーコードを採用できる等、発明目的を達成した実用上の効果を奏する。

#### < 実施例 >

図面は、この発明の一実施例にかかる転写式バーコードを示す。

上記バーコードは、例えば、ポリエチレンその他の剥離性を有す転写フィルム、又は、離型層を設けて剥離性を有す転写フィルム1の下面に太バー21、細バー22からなる所定のバーコード2を印刷方法にて表示し、バーコード2の外域を囲み、開まれたフィルム1及びバーコードの表面に白色その他の着色インキ層、或いは、無色透明の合成樹脂層から成る固定被膜23を施し、この固定被膜23を覆いフィルム1の表面に粘着層3を形成したものである。粘着層3の表面はシリコン加工紙等の離型

採用により、段ボール箱に標準サイズのバーコードを表示できる。

#### < 発明の効果 >

この発明は上記の如く、転写フィルムの下面に、所定のバーコードおよびバーコードを含むフィルム表面にこれを覆い固定被膜を剥離可能に施すと共に、固定被膜の表面に粘着層を形成したから、本願の転写式バーコードは、例えば、包装箱はバーコード部分に空白を設けて印刷しこの空白部分に転写にて表示し、或いは、包装箱に直接印刷したバーコードに印刷不良がある場合、印刷不良のバーコードの上面に転写し、使用できるという効果を有す。

しかも、この発明は、特に固定被膜を含むバーコードの厚さが15ミクロンと極薄なため、包装箱に転写後、他物に引掛かることが無く、しかも、直接印刷と同様に美麗な外観を呈し、段ボール箱と雖も標準サイズのバーコードを採用できる等、発明目的を達成した実用上の効果を奏する。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図はこの発明の一実施例にかかる転写式バーコードの平面図、第2図は第1図A-A線に應う拡大断面図である。

- |          |          |         |
|----------|----------|---------|
| 1. フィルム  | 21. 太バー  | 22. 細バー |
| 2. バーコード | 23. 固定被膜 |         |
| 3. 粘着層   | 4. 保護紙   |         |

特許出願人 サンコーマーク工業株式会社

特許出願人 大阪印刷インキ製造株式会社



図1 図  
この発明の一実施例にかかる転写式バーコードの平面図

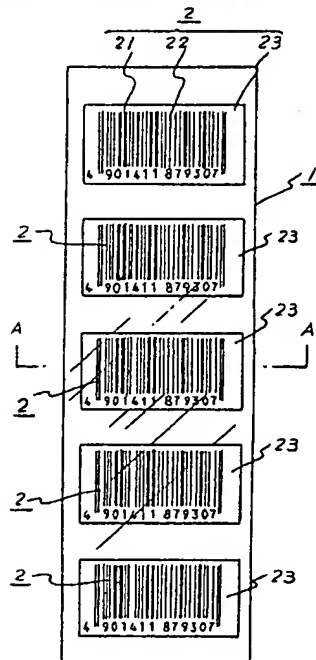
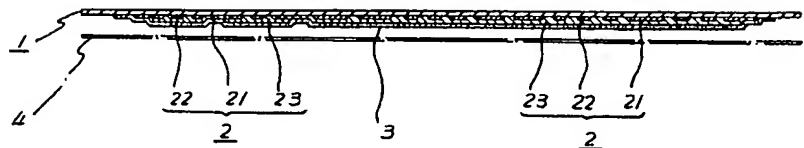


図2 図  
前図中A-A線に沿う拡大断面図



- |           |
|-----------|
| 1.. フィルム  |
| 2.. バーコード |
| 21.. 太バー  |
| 22.. 細バー  |
| 23.. 固定被膜 |
| 3.. 粘着層   |
| 4.. 離型紙   |